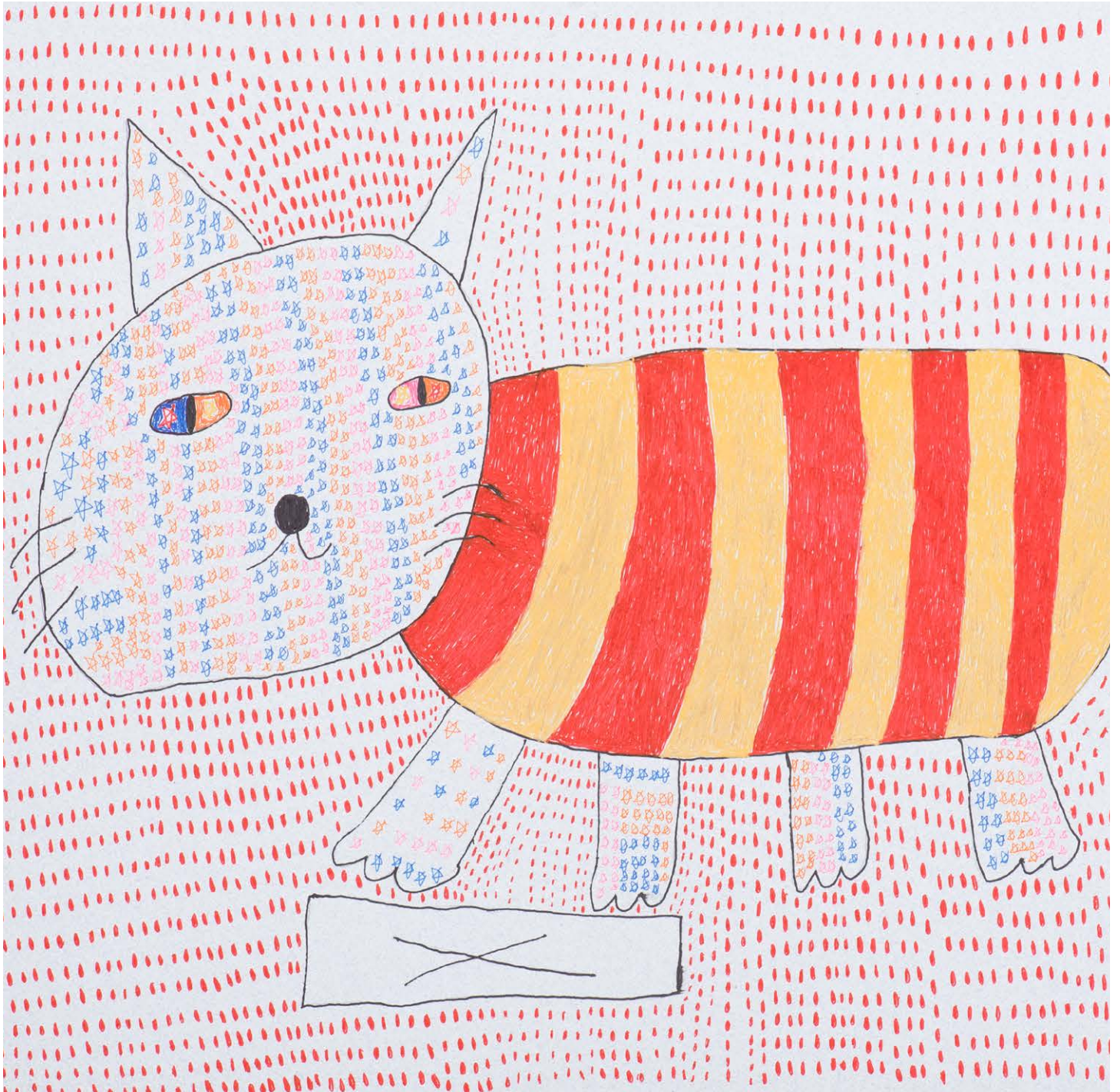


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840



CONTENTS

ガバナーメッセージ

「環境月間」	02
--------------	----

各種報告

第1回 地区戦略計画委員会	04
第4回 ガバナー諮問委員会	05
第2回 地区補助金予備審査会	06
DEI 推進委員会主催交流事業（意見交換会）	07
第3回 インターアクト委員会	09
米山記念奨学生終了式・歓送会	10
第24回 RYLA 研修会	11
IM 報告「第4分区A」	13
IM 報告「第6分区」	14
IM 報告「第3分区」	15
ローターアクト 第24回 地区年次大会	17
第4回 ローターアクトミーティング	19
2026-2027年度 第1回地区ラーニング・管理運営委員会	20
2026-2027年度 第2回地区ラーニング・管理運営委員会	20
2026-2027年度 地区チームラーニングセミナー	21
2026-2027年度 第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	22
地区内クラブ奉仕事業のご紹介（藤岡 RC）	23

お知らせ

2026年台北国際大会のご案内	24
2025-2026年度下期地区主要行事予定表	25
2025-2026年度周年行事・IM 開催予定	26
2026-2027年度地区主要行事予定表	27
コーディネーター NEWS	30
出席報告・My Rotary 登録率	34
新会員紹介	36
訃報	36
新会員入会実績報告（2月末日現在）	37
ガバナーより一言	38
ガバナー月信の表紙について	41
ガバナー事務所よりお願い	42

ガバナーメッセージ 「環境月間」

4月はロータリーの「環境月間 (Environmental Month)」です。2020年10月に、ロータリーとして“環境”を7番目の重点分野に加えました。これに伴い、「母子の健康月間」であった4月が、2021年4月から「環境月間」へと変更され、母子の健康月間は7月に移行となりました。

なぜ、ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境」という新たな重点分野を追加したのでしょうか。

地球規模の環境破壊が平和、健康、経済に深刻な悪影響を及ぼし、既存の6つの奉仕分野（平和、水、健康、教育など）の持続可能性を脅かしているためです。天然資源の保全と持続可能な環境づくりは、次世代への奉仕に不可欠と判断されました。

そして、環境が重点分野になった主な理由として具体的には、既存プロジェクトの根幹：清潔な水、飢餓撲滅、疾病予防など、従来の奉仕活動は環境の健全性に依存しているため。持続可能性の確保：地球環境が悪化すると、地域社会の健康や経済（特に発展途上国）が直接的な打撃を受ける。

次世代への責任：ロータリーの活動を将来にわたって継続させ、持続可能な未来（SDGsへの貢献）を実現するため。

としており、ロータリー組織としては、

既存プロジェクトの増大：以前から世界中のロータリアンが植樹や水質保全などの環境活動を自発的に行っており、それらを「公式な分野」として認めることで、より大きな補助金（グローバル補助金）を投入しやすくするため。

持続可能性の追求：他の6つの重点分野（疾病予防、水と衛生、母子の健康など）を長期的に維持するためには、その基盤となる地球環境の安定が不可欠であるという認識が強まったため。

時代のニーズと若い世代の関心：気候変動などの環境問題は現代の最優先課題であり、この分野に注力することで、環境意識の高い若い世代の入会を促し、組織を活性化させる狙い。としています。

ロータリーの7つの重点分野と、SDGsについて考えてみました。ご存じの通り、SDGsとは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の英語の頭文字をとった言葉です。このSDGsは、2015年9月25日第70回国連総会で、日本を含めたすべての国連加盟国が賛同し、採択された国連文書「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されています。

重点分野に目が行きがちですが、前文には「誰一人取り残さない (Leave no one behind)」という理念が掲げられ、すべての国、およびすべてのステークホルダーによるパートナーシップの下、この計画を実行すると宣言されています。世界を持続的かつ強くしなやか (レジリエント) なものに移行されるために、大胆かつ変革的な手段をとることも、前文の中で強調されています。また、2030アジェンダの重要な要素として、「5つのP」、すなわち人間 (People)、地球 (Planet)、繁栄 (Prosperity)、平和 (Peace)、パートナーシップ (Partnership) を掲げ、持続可能な開発の三側面である、経済、社会、環境を調和させなければならないと提唱しています。

どこかで耳にしたワードが入っています。

Peace - 平和：恐怖と暴力のない平和で公正かつ包摂的な社会を育てる。平和なくして持続可能な開発は達成できず、持続可能な開発なくして平和は実現しないため

Partnership - パートナーシップ：グローバルな連帯の精神に基づき、最貧層と最弱者層のニーズを特に重視しながら、すべての国、すべてのステークホルダー、すべての人々の参加により、

持続可能な開発に向けたグローバル・パートナーシップをさらに活性化し、このアジェンダの実施に必要な手段を動員する。

国連で決議された人類の目標達成のための17の目標と、ロータリーが掲げた7つの重点分野。項目にこそ違いはありますが、目指すところは同じです。

国際ロータリーは、平和と理解を促進するため、国際連合やユネスコ（UNESCO）と長年にわたり協力関係にあります。フランチェスコ・アレツォ RI 会長は、UNESCO で行われた国際組織の未来について話し合うロータリーフォーラムに参加しました。35カ国から750人以上が出席したこのイベントでは、今日の世界における差し迫った課題について意見交換が行われました。アレツォ会長は、異なる国から異なる世代の人たちが集まり、異なる視点が交わる中、人と国家の間の対話が重要であることを全員が認識していたことに感銘を受けたと語っています。

私たちは、一人ではありません。

目的を共有する他の団体がたくさんあることを再認識し、我々の行動の価値を見つめ直して、ロータリーの目的、ロータリーのビジョン声明を実践することによって、私たち、人類が目指す世界に向かって歩み続けましょう。

環境月間 リソースのご案内（Environmental Month）

〈RI ページ〉 ＊タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

- ◆ 環境の保護 <https://www.rotary.org/ja/our-causes/protecting-environment>
ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。
- ◆ 奉仕プロジェクトセンター <https://spc.rotary.org/>
- ◆ ロータリー行動グループ
<https://my.rotary.org/ja/take-action/empower-leaders/rotary-action-groups>
- ◆ パートナー <https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/partners>
より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。このページではロータリーのパートナーとなっている団体を紹介しています。

〈ラーニングセンター〉 <https://my-cms.rotary.org/ja/document/learning-center-course-catalog>

- ◆ ロータリーの重点分野 <https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotarys-areas-focus>
 - » 重点分野の基本方針
<https://my.rotary.org/ja/document/areas-focus-policy-statements>
 - » 「環境」グローバル補助金 授与のガイドライン
<https://my-cms.rotary.org/ja/document/environment-guidelines-global-grant-funding>

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» <https://www.rotary.org/ja/news-features>

■ Rotary Voice ページ（日本語）は» <https://rotaryblogja.wordpress.com/>

〈映像資料〉

■ Rotary YouTube ページは» <https://www.youtube.com/user/RotaryInternational>

第1回 地区戦略計画委員会

- 日 時： 2026年2月14日(土)9:30~10:30
- 会 場： ガバナー事務所
- 出席者： 竹中 隆ガバナー、田中 久夫パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、森 末廣直前ガバナー、湯澤 晃ガバナーエレクト、樋口哲雄代表地区幹事、櫻井正晴地区幹事、高野由博地区副幹事、須永正義地区副幹事
- 報告者： 代表地区幹事 樋口哲雄(高崎北RC)

去る2月14日(土)ガバナー事務所にて「第1回地区戦略計画委員会」が下記内容にて開催されました。

- § ガバナー挨拶 竹中 隆 ガバナー
- § 委員長挨拶 田中久夫 委員長
- § 次年度委員長予定者挨拶 保坂充勇次年度委員長
- § 次期(第5期2026~2029)戦略計画作成について
 - ・担当者割り振り
 - ・会議日程等

- * 次回委員会開催 2026年3月15日(日)PELS昼食時
- * 次々回委員会開催日 2026年4月12日(日)1:30p.m.ガバナー事務所



第4回 ガバナー諮問委員会

- 日 時： 2025年2月14日(土)10:30-12:00
- 会 場： 前橋問屋センター会館
- 出席者： 竹中 隆ガバナー、森田 均パストガバナー、山崎 學パストガバナー、
曾我隆一パストガバナー、横山公一パストガバナー、牛久保哲男パストガバナー、
福田一良パストガバナー、安藤震太郎パストガバナー、本田博己パストガバナー、
竹内正幸パストガバナー、田中久夫パストガバナー、森田高史パストガバナー、
山田邦子パストガバナー、足立 進パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、
森 末廣直前ガバナー、湯澤 晃ガバナーノミニ、樋口哲雄代表地区幹事、
櫻井正晴地区幹事、後藤圭一地区幹事、平田 稔会計長、小坂橋桂地区財務委員
- 報告者： 代表地区幹事 樋口哲雄(高崎北RC)

去る2月14日(土)前橋問屋センター会館にて、「第4回ガバナー諮問委員会」が下記内容にて開催されました。

§ 諮問事項

次年度地区運営について(地区組織・地区運営方針・地区予算他)
RIJYEM社員任命について

§ 報告事項

- ・上半期地区会員数について
- ・上半期地区主要行事報告及び下半期主要行事予定について
- ・上半期地区予算執行状況について
- ・上半期寄付実績報告(R財団年次寄付・ポリオプラス寄付・米山記念奨学会寄付)
- ・米山記念奨学生選考会報告
- ・2027-2028年度ガバナー候補者について
- ・ロータリー創立記念日上毛新聞広告掲載について
- ・2025-2026年度下半期ならびに2026-27・2027-2028年度主要行事予定について
- ・竹中 隆ガバナーエレクト国際協議会補講報告



第2回 地区補助金予備審査会

- 日 時： 2026年2月21日(土) 13:00~16:30
- 会 場： 前橋商工会議所会館 3F アネモネ
- 出席者： 小林洋樹ロータリー財団委員長(前橋RC)、石井英智ロータリー財団副委員長(前橋西RC)、唐沢健二地区補助金委員長(中之条RC)、小林匡美ロータリー財団委員(高崎南RC)、草処晋一地区補助金副委員長(桐生赤城RC)、菊川善明地区補助金委員(前橋RC)、下田 仁地区補助金委員(伊勢崎RC)、六本木 裕地区補助金委員(伊勢崎中央RC)、江畑晴彦地区補助金委員(高崎RC)、小此本能信地区補助金委員(高崎RC)、植村 仁地区補助金委員(太田RC)、山本 樹地区補助金委員(館林RC)、原 直道地区補助金委員(渋川RC)、渡邊仁基地区補助金委員(藤岡南RC)、橋谷晋治地区副幹事(高崎北RC)、堤 謙治地区副幹事(高崎北RC)
- 報告者： 地区補助金委員会委員長 唐沢健二(中之条RC)、地区副幹事 堤 謙治(高崎北RC)

第2回地区補助金予備審査会が2月21日(土)に前橋商工会議所会館において行われました。初めに、第1回予備審査会で報告書に修正指示のあった7クラブと第1回予備審査会以降に報告書の提出があった1クラブ、合計8クラブの審査が行われ、7クラブの報告書が受理されましたが1クラブは再度修正が必要となりました。

次に次年度実施の補助金事業の申請書について、申請書の内容と添付されている資料の精査を行いました。今回、40のロータリークラブと8つのローターアクトクラブ(8クラブ合同事業)から申請書が提出されました。参加メンバーによる入念な審査の結果、RC・RAC合わせて26クラブが申請書並びに添付資料に問題無しと判断され受理されました。そして、13のロータリークラブに修正依頼をして早急に対応することを各分区担当者と確認しました。さらに、まだ申請されていない3RC(前橋東RC・前橋北RC・太田中央RC)には早急に提出するよう分区担当者から依頼する事として閉会しました。



次回開催

第3回地区補助金予備審査会

4月11日(土)10:00~12:00 於 前橋商工会議所会館

DEI 推進委員会主催 交流事業(意見交換会)

Update Yourself, Upgrade Your Club
～よりインクルーシブな場所をめざして～

- 日 時: 2026年2月21日(土) 14:00～16:20
- 会 場: 前橋問屋センター会館 及び Zoom
- 出席者: 竹中 隆ガバナー、本田博己パストガバナー、山田邦子パストガバナー、
佐藤貴江DEI推進委員長、星野麗日副委員長、下田恭子委員、高橋寿美江委員、
春山和久委員、中澤 翔委員(RA)、廣神壮郎副幹事、各クラブ3～10年の会員中心に74名
- 報告者: 地区副幹事 廣神壮郎(高崎北RC)

2026年2月21日(土)14:00～16:20、前橋問屋町センター会館およびZoomによるハイブリッド形式にて、2025-2026年度DEI推進委員会主催交流事業(意見交換会)を開催いたしました。

本事業では、ロータリー歴3～10年の会員を中心に、退会防止、モチベーション向上、そして今後のクラブ運営の在り方について率直な意見交換が行われました。

■ 退会防止のための「居場所づくり」

各グループで共通して挙げられたのは、新入会員を孤立させない仕組みの重要性でした。メンター制度の導入や、小さな役割の付与、欠席者への継続的な声掛けなど、「必要とされている」と実感できる環境づくりが退会防止につながるとの意見が共有されました。

また、会費の多段階制の導入や夜間例会の開催など、経済的・時間的負担への配慮も具体例として報告されました。

■モチベーションを高める「仲間との実感」

「この仲間と共に行いたい」という思いこそが継続の原動力であるとの声が多く聞かれました。ゴルフに限らない親睦活動、家族参加型事業、異業種交流の深化、奉仕活動の手応えなど、クラブの魅力を確認する意見が多数挙げられました。

役職への責任感や同期の支え合いも、参加継続の大きな要素であることが確認されました。

■ DEIの視点からの「アップデート」提言

今後の課題として、以下のような提案が挙げられました。

- ・女性会員増強のための慣習の見直し
- ・例会時間帯やドレスコードの柔軟化
- ・オンライン(Zoom)の積極活用
- ・ロータリー専門用語の分かりやすい説明
- ・寄付の透明性と選択性の向上

■ 結びに

今回の意見交換会を通じて見えてきたのは、DEIとは理念の掲示ではなく、「誰にとっても居心地の良いクラブをつくる日々の実践」であるということです。

Update Yourself, Upgrade Your Club。

本報告が各クラブの理事会や例会での議論の一助となり、具体的な行動へとつながることを願っております。



第3回 インターアクト委員会

- 日 時：2026年3月4日（火）10:00～11:30
- 会 場：ガバナー事務所
- 出席者：関口知義 IA 委員長、田原明岬 IA 副委員長、坂田晴彦 IA 委員、
河内良範 2023-24 年度 IA 委員長、小林 聡アドバイザー、久保 満地区副幹事
- 報告者：IA 委員会委員長 関口知義（前橋 RC）、地区副幹事 久保 満（高崎北 RC）

3月4日（火）「第3回インターアクト委員会」がガバナー事務所にて開催され、下記内容について協議されました。

(1) 訪台事業について

2026年3月26日から3月29日までの4日間、訪台事業を実施する予定である。

参加者は総勢26名で、内訳は生徒16名、教員2名である。

また、2560地区より3名、2840地区より5名が参加予定となっている。

(2) 訪日事業について

2026年4月25日から4月27日までの3日間、新潟県長岡市にて訪日事業が予定されている。

本事業については、本年度は2560地区が担当し、群馬地区より運営補助として参加する予定であるが、詳細な内容については後日改めて連絡することとした。

(3) 服装について

公式行事においては、男性参加者はガバナースタッフと同一のネクタイを着用することが確認された。

(4) 次年度以降の体制について

次年度は当2840地区が担当地区となる予定であるため、受け入れ人数の上限や次期の運営体制について意見交換を行った。

今後の対応

- ・ 訪日事業の詳細内容について、決定次第速やかに関係者へ連絡する。
- ・ 次年度担当地区（2840地区）との引き継ぎおよび受け入れ体制について、引き続き協議を行う。

以上



米山記念奨学生終了式・歓送会

- 日 時：2026年3月7日（土）17：00～19：30
- 会 場：ホテルメトロポリタン高崎
- 出席者：竹中 隆ガバナー、竹内正幸米山記念奨学委員会アドバイザー、森田高史米山記念奨学委員会評議員、湯澤 晃ガバナーノミニー、樋口哲雄代表地区幹事、櫻井正晴地区幹事、矢内良春米山記念奨学委員会委員長ほか米山記念奨学委員会副委員長及び委員 13 名、米山記念奨学生 13 名、カウンセラー 9 名、米山学友 7 名
- 報告者：米山記念奨学委員会委員 荒川 優（前橋西RC）

2025 学年度 米山記念奨学生終了式及び歓送会が開催され、本年度卒業の 15 名（出席者 13 名、うち 2 名欠席）に終了証を贈呈し、来場者の皆様とともにお祝いをいたしました。

歓送会では、卒業奨学生とカウンセラーによるお礼と感想が述べられ、エピソードを交えたスピーチが行われました。また、スピーチをしていただいたカウンセラーへ、卒業奨学生よりメッセージ付きのお花が贈られました。

これまで米山学友は会長・副会長のみの参加が多かったのですが、今回は 7 名の学友にご参加いただきました。

今後も奨学生・カウンセラー・クラブの交流が深まり、卒業生が学友会に入会し、ロータリークラブとの関係が末永く続くことを願っております。



第 24 回 RYLA 研修会

- 日 時：2026年3月8日（日） 10：30～16：00
- 会 場：高崎市労使会館
- 報告者：RYLA・学友委員会委員長 小澤健一（高崎）

第24回RYLA研修会を、さる3月8日日曜日に、高崎市労使会館にて、65名の方にご参加いただき、無事に終了することが出来ました。

「リーダーシップとは、なにか？—今、そこで自分が出来ることを考えよう—」をテーマに、第1部は、スマートサプライビジョン特別講師・糸日谷美奈子氏の講演会、第2部をグループワークと行いました。

東日本大震災を教諭として、釜石市で被災経験された糸日谷氏の生の声を聴くことが出来たことは、参加者からもとてもよかったとお声がけいただきましたが、15年経った今でも、震災は続いているのだということ、改めて実感いたしました。当日の様子からその後の生活までお話しくださり、あの「釜石の奇跡」と言われ報道で何度となく取り上げられておりましたが、先生曰く「奇跡ではない。学んでいたから逃げただけ」と話されました。釜石市では、教育の中に防災教育があります。群馬県は、比較的災害の少ない県ですが、いつどこで起こるか分からない災害に備えて勉強し知識を高めることは、大事だと教わりました。

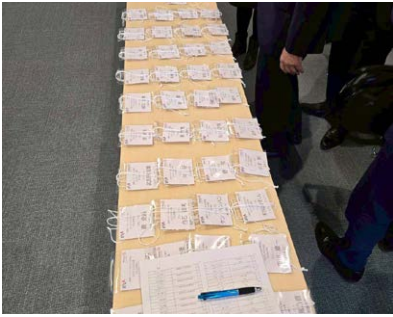
講演の中で『今は、震災前なんです。だから、備えられる物は準備してください。備蓄品、知識、(地域・人との)つながりを準備してください』と言われました。備蓄品は、災害が起こってから購入すると「買占め」と叩かれるかもしれませんが、今は準備段階だから、何も言われません。災害に対する知識—避難経路や避難所など—を高めること、そして地域の人とつながりを持ち、有事の際には、互いに助け合える関係を築くことが大事であると教わりました。

第2部グループワークでは、記憶にない高校生や揺れを経験されていない奨学生もおりましたが、みな自分たちの立場に置き換え討論し、講演内容について理解がより深まったとの感想もいただきました。

『リーダーシップとは、その場で自分に出来ることを考え、行動を起こすことで周囲を巻き込み導いていくこと』とグループワークで発表してくれたこと、また、先生の講演のサブテーマ『助けられる人から、助ける人へ』を、参加者全員がその意識を持つことが出来たことは、今回の研修会の目的を達成でき、参加してくれた皆様の今後の災害に対する意識の一助になれたと思いました。今回参加してくれた皆様が有事の際、力を発揮してくれることを願っております。

最後に、協力いただきました竹中ガバナーをはじめとする地区担当の皆様、富山会長をはじめとする高崎RCの皆様、事務局のお二人にこの場を借りて感謝申し上げ、報告とさせていただきます。





IM 報告 第4分区 A

- 日 時：2026年2月18日（水）
 - 第1部 IM 16:30～18:35
 - 第2部 5RC 合同親睦例会 19:00～21:00
- 会 場：ティアラグリーンパレス
- 報告者：第4分区Aガバナー補佐 大谷恒雄(太田南RC)

第4分区AのIMは、2月18日に、竹中 隆ガバナー、竹内正幸パストガバナー、中野正美パストガバナーをお招きして、分区内5クラブの会員66名が参加して、第1部をパネルディスカッション、第2部を5RC合同親睦例会として、開催いたしました。

第1部のパネルディスカッションは、テーマを「これからの奉仕団体は、他団体との協力は、必要か」とし、今後の課題をにらんだものとなりました。

コーディネーター	関東学園大学 経済学部教授 中村正明様
パネリスト	太田青年会議所 理事長 高橋佑介様
	東毛経済同友会 会長 服部 忠夫様 (伊勢崎中央RC)
	太田ベンチャークラブ 会長 大塚 和代様
	第4分区A 各ロータリークラブ会長

3団体から、奉仕団体が取組む課題や会員拡大等を発表していただき、各団体が抱える共通の課題や今後の協働の可能性について、意見交換を行いました。

初めての他団体との意見交換の場は、新鮮であり、将来のパートナーシップの必要性を感じると共に、会員拡大への道筋が付いたIMとなりました。

第2部の5RC合同親睦例会は、パネルディスカッションの参加者の皆様と、「James.K & 伊勢崎ダンディーズ」のジャズの音色と共に各クラブの会員で楽しい懇親の場で友情の輪を広め、第1部・第2部の連続した有意義な時間を過ごしました。



IM 報告 第6分区

- 日 時：2026年2月21日（土） 14：30～18：00
- 会 場：安中市「並木苑」
- 報告者：IM実行委員長 室橋信好(碓氷安中RC)

第6分区IMは、ご来賓として竹中隆ガバナーをお迎えし、分区内の会員50名の参加を得て2月21日(土)午後開催致しました。

今回IMのテーマを「よいことのために手をとりあい、みんなで語ろう!」とし、研修会では、安中市教育長岩崎聡様を講師にお迎えし、「ふるさと安中みらい学」—郷土を愛する子どもたちを育てる取り組み—と題した講演会を行い、ロータリーの奉仕活動のうち、青少年奉仕や社会奉仕に活かせる気付きが得られたのではないかと思います。

また、懇親会では分区内の8クラブの会員がテーブル毎に分かれて座り、お互いのクラブやそれぞれの地域の様々な事柄について有意義な語らいが出来たのではないかと思います。限られた時間ではありましたが、皆様のご協力のおかげで盛り多いIMができ大変ありがとうございました。



IM 報告 第3分区

- 日 時：2026年2月23日（月）
第1部 研修会 16:00～18:10
第2部 懇親会 18:30～20:00
- 会 場：ホテルグランビュー高崎
- 報告者：第3分区ガバナー補佐 関口朋克（高崎セントラルRC）

○ 去る2月23日（月）ロータリーデー（なんと当日は田中久夫LFの誕生日でもありました。）に竹中 隆ガバナー、田中久夫ラーニングファシリテーター、樋口哲雄代表地区幹事をお招きし、第3分区IMを開催致しました。

○ IMの前段、「ロータリーデー奉仕活動」として6ロータリークラブ合同のフードバンク事業を行いました。75名の参加者から、たくさんの寄付品を頂き「こども食堂ネットワークぐんま」様に贈呈をさせて頂きました。



○ IMでは、こども食堂ネットワークぐんま代表の丸茂ひろみ様を講師に迎え、「奉仕活動を見つめ直そう～児童福祉の現場から見えるもの～」をテーマに、児童福祉を取り巻く環境と課題についてご講演を頂きました。その後、竹中ガバナー、飯塚RA代表、クラブ会長代表として富山会長、斎藤会長にご登壇頂き、各クラブの奉仕活動の現状と課題等についてパネルディスカッションを行いました。

今回のIMが、ご参加頂いた皆様方ご自身の奉仕感度の向上に寄与し、今後の各クラブの奉仕活動が地域にとって更に魅力的になること、又更なるインパクトを与えることとなりますことをご祈念申し上げます。

○ 懇親会では各クラブの会長エレクト、次年度幹事予定者から次年度の抱負を語って頂きました。和やかな雰囲気の中、6RCの交流を更に深めて頂きました。

○ IMの設営にあたりご尽力を頂きました浜辺宣昭実行委員長を始めとする高崎セントラルRCの皆様心から感謝申し上げます。





ローターアクト 第24回地区年次大会

- 日 時： 2026年3月1日(日)13:30～19:30
- 会 場： 伊勢崎市プラザ・アリア
- 出席者： 竹中 隆ガバナー、青山 豊ガバナー補佐(ローターアクト副委員長兼任)
荻原靖規ローターアクト委員長ほか来賓3名、当地区ロータリアン40名、
当地区ロータリーファミリー2名、友好地区ローターアクター・OB・OG44名、
当地区ローターアクター20名 計112名
- 報告者： 地区副幹事 堤 謙治(高崎北RC)

3月1日(日)伊勢崎市のプラザ・アリアにてローターアクトの「第24回地区年次大会」が開催されました。地区ローターアクト幹事 松崎真佑君、沼田ローターアクトクラブ 今井朱里さんの司会進行により開会、佐野和穂地区ローターアクト代表による点鐘、参加者全員での国家・ローターアクトソング斉唱、続けてローターアクトの活動唱和等、大会は滞りなく進行し、次いで伊勢崎市長 臂 泰雄様をはじめ竹中 隆ガバナー、荻原靖規ローターアクト委員長よりご来賓あいさつを頂戴しました。

続いて、佐野和穂地区代表挨拶及び地区活動報告が発表され、休憩ののち地区内8クラブの活動報告と活動が顕著だったクラブの表彰が行われました。

記念講演は以前ROTEXの経験があった村上 采さんがROTEXだった時代から現在に至るまでを話され、そしてワークショップとしていせさき銘仙を使ったコースター作りを体験し全員が汗を流しました。

その後は来年、群馬で「全国ローターアクト大会」が開催される為、大会についてのお知らせや告知、スタッフ紹介等を地区ローターアクト代表エレクトの飯塚もも子さんが発表しました。最後に飛び入りで竹中ガバナーと青山ガバナー補佐に講評を頂きました。青山ガバナー補佐からはロータリアンがもっとローターアクトの活動に参加してほしいとの話もありました。当日の参加者は来賓6名、当地区ロータリアン40名、当地区ロータリーファミリー2名、友好地区ローターアクター・OB・OG44名、当地区ローターアクター20名の計112名と地区内外より大勢の参加を頂き大変有意義で実りある大会を開催することができました。ご出席頂きました皆様のご協力に心より感謝申し上げます。





ワークショップ



ローターアクトクラブ活動報告

第4回 ローターアクトミーティング

報告者：高崎北 RAC 直前会長 大角さくら

2026年2月21日土曜日に無為山荘 有徳庵（高崎市）にて第4回ローターアクトミーティングを開催しました。第4回は高崎北ローターアクトクラブがホストとなり「日本文化」をテーマに行いました。ロータリアン4名、青少年交換プログラム長期受入学生3名、ローターアクター14名、オブザーバー1名、講師5名の合計27名のご参加を賜りました。

高崎北ローターアクトクラブでは日本の文化に関する例会は恒例となっており、クラブ持ち回りの行事だからこそ、クラブの独自性を発揮した例会として茶道体験を企画しました。

講師の井上智太様（高崎北 RC）より茶道で用いられる抹茶の説明を受け、抹茶の搦る前のものを保管する茶壺の中身を特別に見せていただきました。厳重に結ばれた紐が解かれ、口ウで閉じられた蓋を小刀で切り開く様子は独特の緊張感が漂っていました。

続いてお茶を点てる体験では、実際に茶筌を振って自ら点てたお茶を飲むことができ、茶筌を振る難しさを通じて、茶道の技能の奥深さを感じました。

最後に茶会体験では、抹茶を頂く際のお作法とそれぞれの抹茶茶碗の絵柄をご説明いただきました。

参加した方から「茶道には相手への思いやりや気遣いがあると知った」や「この体験を広く知らせたい」との声をいただきました。

また今回は青少年交換の留学生3名にも参加いただき、本ミーティングでは多くの方に日本文化に触れる機会を持っていただけだと思います。

2025-2026年度のローターアクトミーティングも残すところ第5回のみとなりました。

2026年4月18日に実施いたします。ローターアクターのみならず奮ってご参加いただけますと幸いです。



2026-2027年度 第1回 地区ラーニング・管理運営委員会

- 日 時：2026年2月14日（土）12：00～13：00
- 会 場：ガバナー事務所（前橋問屋センター会館）
- 出席者：竹中 隆ガバナーエレクト、田中久夫地区ラーニング・管理運営委員会委員長、森田高史副委員長、森 末廣委員、湯澤 晃委員、新井良和委員、飯田知義委員、小磯正康委員、櫻井正晴地区幹事、小日向和博地区副幹事、大谷栄義地区副幹事
- 報告者：地区副幹事 小日向和博（安中 RC）

2月14日（土）、2026-2027年度の「第1回地区ラーニング・管理運営委員会」が開催されました。田中久夫地区ラーニング・管理運営委員会委員長のもと、様々な方針や計画について議論されましたが、地区ラーニング・管理運営委員会についての主旨説明や年間開催予定日の確認、同会議後に行われました地区チームラーニングセミナーについての確認も行われました。また、地区運営方針や各委員会方針、事業計画等の確認も行われ、2月20日までに素案提出→2月25日原稿確定→3月7日合同会議で発表→PELSで発表と決定されました。その他にも地区事業や委員会事業についても確認がされました。

2026-2027年度 第2回 地区ラーニング・管理運営委員会

- 日 時：2026年3月4日（水）15：30～17：00
- 会 場：ガバナー事務所（前橋問屋センター会館）
- 出席者：竹中 隆ガバナーエレクト、田中久夫地区ラーニング・管理運営委員会委員長、森田高史副委員長、森 末廣委員、湯澤 晃委員、新井良和委員、津久井 功委員、小磯正康委員、櫻井正晴地区幹事、小日向和博地区副幹事、大谷栄義地区副幹事
- 報告者：地区副幹事 小日向和博（安中 RC）

3月4日（水）、2026-2027年度の「第2回地区ラーニング・管理運営委員会」が開催されました。竹中 隆ガバナーエレクトからのガバナーエレクトメッセージ及び地区運営方針についての説明後、今後年度開始前までに続けて開催されていく『第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議』、『会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー』、『クラブリーダーシップラーニングセミナー』等についての内容並びに分科会のプログラムの確認・意見交換がなされました。2026-2027年度を地区及び各クラブが円滑にスタート出来るよう様々なことが議論され決定されました。

2026-2027年度 地区チームラーニングセミナー

- 日 時：2026年2月14日(土) 13:30～16:00
- 会 場：前橋問屋センター会館
- 出席者：竹中 隆ガバナー(ガバナーエレクト)、森田 均パストガバナー、
曾我隆一パストガバナー、本田博己パストガバナー、竹内正幸パストガバナー、
田中久夫パストガバナー、森田高史パストガバナー、山田邦子パスト、
足立 進パストガバナー、中野正美パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、
森 末廣直前ガバナー、湯沢 晃ガバナーノミニ、
2026-2027年度ガバナー補佐・地区役員・地区委員長・ガバナースタッフ
- 報告者：地区副幹事 川島 博(安中RC)

国際ロータリー第2840地区2026-2027(竹中 隆ガバナー)年度の地区チームラーニングセミナーが、ガバナー、パストガバナー、ガバナーノミニ、次年度ガバナー補佐・地区役員・地区委員会委員長・地区副幹事の合わせて56名の出席で開催されました。

竹中 隆ガバナーエレクトの挨拶の後、田中久夫地区ラーニングファシリテーターから地区チームラーニングセミナーの目的について説明があり、研修が進められました。

始めに竹中 隆ガバナーエレクトから国際協議会(補講)の報告、国際ロータリー会長エレクトメッセージ、地区運営方針の発表がありました。続いて、櫻井正晴地区幹事から地区組織運営について、小坂橋桂地区会計長から地区予算案についての説明がありました。

休憩を挟んで、各委員会委員長予定者から自己紹介・事業方針の発表、ガバナー補佐から担当分区の現状と課題・方針が発表されました。そして櫻井正晴地区幹事より3月15日に開催予定のPELS・SELSについて、5月16日に開催予定のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの準備について説明がありました。その後、森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長よりまとめがあり、最後に森 末廣直前ガバナーから講評をいただき、地区チームラーニングセミナーを終了いたしました。



2026-2027年度 第1回 ガバナー補佐・委員長予定者合同会議

- 日 時：2026年3月7日（土）13：30～15：00
- 会 場：高崎商工会議所 6階ホール
- 出席者：竹中 隆ガバナー（ガバナーエレクト）
森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長、
足立 進パストガバナー、中野正美パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、
湯沢 晃ガバナーノミニー、2026-2027年度ガバナー補佐、2026-2027年度地区役員、
2026-2027年度地区委員会委員長、2026-2027年度地区副幹事
- 報告者：地区副幹事 川島 博（安中 RC）

2026-2027年度の第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議が、2026年3月7日（土）に高崎商工会議所で開催されました。

竹中 隆ガバナーエレクトの挨拶の後、森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長からガバナー補佐・委員長予定者に向けて、心構えと役割について説明がありました。

次に竹中ガバナーエレクトより次年度のキーワードが「帰属意識」「インパクト」「ビジョン」「ミッション」「ストーリー」「平和」という方針が示され、それを基に地区運営・地区組織の方針・ガバナー補佐・委員長予定者へ依頼事項について説明されました。櫻井正晴明地区幹事より2026年度～2027年度組織、行事予定、地区副幹事の分担、出欠システムについて説明がありました。

質疑応答の後、保坂充勇パストガバナーから講評をいただき閉会となりました。

たくさんの方々にご出席いただき、次年度に向けて大変有意義な会議となりました。

ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



地区内クラブ奉仕事業のご紹介

下記地区内クラブ奉仕事業は、2023～2024（保坂ガバナー年度）に実施いたしました奉仕活動アンケートをもとに、毎月1クラブずつ紹介していきます。これからの奉仕活動の参考にしてください。

職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

【藤岡ロータリークラブ】

- 記入者 布施千夏
- プロジェクト名 少年少女合唱団群馬県フェスティバル
- 目的 藤岡みかぼみらい館から県内の少年少女合唱団の発表・競演・歌唱力の向上・交流を図り 青少年の健全育成に寄与する
- 対象(受益者) 群馬県内の少年少女合唱団(2025年は全日本合唱連盟との共同開催により全国の少年少女合唱団含む)
- 参加者 全会員
- 費用 40万円/回
- 実施期間 2000年5月～毎年12月第1日曜日開催(2025年12月21日 共同開催により変更有)

活動内容

2000年5月第1回少年少女合唱団群馬県フェスティバルを開催。当時、群馬県内では合唱団の発表の機会がなく、音響効果の良い藤岡みかぼみらい館で、子供たちに大きな会場での合唱の経験・コンクール本番さながらの披露の場所を設けてあげたいという強い思いから始まりました。

毎年12月第1日曜日に群馬県内の合唱団約20団体の参加により開催しております。先代のロータリアンの思いを受け継ぎ、現ロータリアン・群馬県合唱連盟・指導者・保護者の皆様の思いが26年に渡り継続してきた大きな原動力になっています。また、藤岡ロータリークラブでは、次代を担う子供たちの健全な育成に大切な活動と位置づけ、青少年奉仕プロジェクトとして、全員参加協力のもと、継続年間事業として定着しています。

年々、素晴らしい合唱を披露していただき、心が震え、感動を覚えます。「継続は力なり」を実践し、会員の一致団結・青少年健全育成のためこれからも伝統行事として位置付けていきたいと考えています。



活動成果

大舞台での合唱経験により群馬県内の合唱団のレベルアップ。青少年の健全育成の実践。

地域・群馬県合唱連盟・指導者・保護者との団結力・協力体制アップ。

ロータリアンの全員参加による会員同士の団結力・協力体制アップ。

26年継続の実績を認められ、2025年 全日本合唱連盟の皆様から合唱フェスティバル合同主催開催という栄誉あるお話をいただき、無事に成功裡に終了することができました。(2025こどもコーラスフェスティバル&第26回少年少女合唱団群馬県フェスティバル)



2026年台北国際大会

2026年6月13日－17日

＜台北ドームにて開催＞

2026年6月14日 (日) 開会式 (午前・午後の2回)
 2026年6月15日 (月) 全体会議 (午前)
 2026年6月16日 (火) 全体会議 (午前)
 2026年6月17日 (水) 閉会式 (午後)



登録はこちらから↑

「全体会議以外はこちらで開催」
 ＜台北南港第1・第2展示ホール＞
 (受付、セッション、友愛の家、昼食)
 住所：11568
 台北市南港区経貿二路1号、2号



ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

TAIPEI, TAIWAN | 13-17 JUNE 2026



#Rotary26

【2026年台北国際大会チーム】

2026年台北国際大会R推進委員
 日本チーム

出村知佳子 第2510地区札幌北RC
 chikakodemura@gmail.com

第1地域 岡村睦美 第2770地区 川口RC
 第2地域 吉川公章 第2760地区 名古屋南RC
 第3地域 大橋秀典 第2660地区 東大阪東RC



登録カテゴリー/ 登録日	2025年12月16日～2026年3月31日の登録	2026年4月1日～6月17日の登録
クラブ会員、非会員、31歳以上のゲスト	US\$575	US\$675
クラブ会員、RAC会員、非会員、30歳以下のゲスト	US\$225	US\$275
5～18歳のゲスト	US\$30	US\$40
5歳未満のゲスト	無料	無料
土曜日の友情の広場 (House of Friendship) のみ参加	US\$60	US\$100

2025-2026 年度 下期地区主要行事予定表

日付	時間帯	項目	場 所	
2026年				
1月	11(日)~15(木)	国際協議会	オーランド(フロリダ州)	
	24(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
		13:30~	(第1回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
25(日)		(職業奉仕セミナー)	前橋問屋センター会館	
2月	3(火)	18:00~	第1回ガバナー補佐会議(2026-27年度)	たかさき書齋
	14(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
		午後	地区チームラーニングセミナー(2026-27年度)	前橋問屋センター会館
	21(土)	13:00~	(第2回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
		14:00~	DEI推進委員会主催 意見交換会(ハイブリット)	前橋問屋センター会館
23(月)		ロータリー創立記念日		
3月	1(月)	午後	(ローターアクト年次大会)	プラザ・アリア(伊勢崎)
	7(土)	午後	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	8(月)	10:30~	RYLA研修会	高崎労使会館
	15(日)	終日	会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー(2026-27年度)	磯部ガーデン
	20(金・祝)	午後	新会員セミナー	エテルナ高崎
		(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)		
4月	5(日)	午後	RA会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	前橋問屋センター会館
	11(日)	10:00~	(第3回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館
	18(土)	午前	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
		(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)		
5月	16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(2026-27年度)	安中市文化センター
	17(日)	午後	(地区補助金最終審査会)	前橋問屋センター会館
		午後	(青年交換ホストクラブ・ホストファミリーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
20(水)	17:00~	歴代地区幹事会	辰巳館	
6月	13(土)~17(水)		国際大会	台北
	20(土)	午後	(米山記念奨学生指定校選定会議)	ロイヤルチェスター前橋
	27(土)	午後	第5回ガバナー諮問委員会	マリエールウィル高崎
		午後	現新地区役員合同連絡会議	マリエールウィル高崎
	28(日)	午後	(青少年交換受入学生歓迎会・派遣学生壮行会)	ホテルサンダーソン

※4月の「新会員セミナー」は開催しないことになりました。

2025-2026 年度 周年行事・IM 開催予定表

2025-2026 年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	4	11	土	60	桐生南RC	美喜仁桐生文化会館
2026	4	12	日	40	沼田中央RC	ホテルベラヴィータ
2026	4	19	日	30	高崎シンフォニーRC	ホテルメトロポリタン高崎

2025-2026 年度 IM 開催予定表

年	月	日	曜日	区 分	場 所
2026	3	28	土	第1分区	ロイヤルチェスター前橋
2026	2	28	土	第2分区A	たつ吉
2026	3	10	火	第2分区B	プラザアリア
2026	2	23	月・祝	第3分区	ホテルグランビュー高崎
2026	2	18	水	第4分区A	ティアラグリーンパレス
2026	2	7	土	第4分区B	ニューミヤコホテル館林
2025	11	24	月・祝	第5分区	ホテルベラヴィータ
2026	2	21	土	第6分区	並木苑

2026-2027 年度 地区主要行事予定表

日付	時間帯	項目	場 所	
2026年				
1月	11(日)～15(木)	国際協議会	オーランド(フロリダ州)	
	19(月)～23(金)	次年度委員長面談	前橋問屋センター会館	
2月	03(火)	18～	第1回ガバナー補佐会議	たかさき書斎
	14(土)	10:30～	★第4回ガバナー諮問委員会(2025-26年度)	前橋問屋センター会館
	14(土)	12～	第1回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	14(土)	13:30～	地区チームラーニングセミナー	前橋問屋センター会館
3月	04(水)	15:30～	第2回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	07(土)	13:30～	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	高崎商工会議所
	15(日)	終日	会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
4月	04(土)	13:30～	第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ビエント高崎
	04(土)	15～	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	ビエント高崎
	05(日)	午後	ローターアクト会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	前橋問屋センター会館
5月	16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	安中市文化センター
	16(土)	夜	クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	並木苑
	25(月)	15～	クラブ管理運営セミナー	高崎市総合福祉センター
6月	13(土)～17(水)		国際大会	台北
	27(土)	午後	★第5回ガバナー諮問委員会(2025-26年度)	マリエールウィル高崎
	27(土)	午後	★現新地区役員合同連絡会議(2025-26年度)	マリエールウィル高崎
7月	11(土)	10～	第1回ガバナー諮問委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	11(土)	13～	第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	18(土)	午前	(インターアクト年次大会)	メガネのイタガキ文化ホール
	25(土)	10:00～	(ロータリー財団委員会合同会議)	前橋問屋センター会館
	25(土)	15:30～	★米山記念奨学生対象セミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	17:30～	★(米山学友会総会)	ホテルメトロポリタン高崎
			<ロータリー野球大会コミッショナー会議> (青少年交換長期派遣学生壮行会)	
8月	01(土)	9:00～	(第1回地区補助金委員会)	前橋問屋センター会館
	08(土)	13～	(R L Iファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	26(水)	12:00～	(米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午前	<ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	30(日)	13:30～	クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
			(青少年交換長期受入学生歓迎会)	

日付	時間帯	項目	場 所	
9月	01(火)	湯澤ガバナーエレクト事務所開設		
	05(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	06(日)	終日	(R L I セミナー Part I)	前橋問屋センター会館
	19(土)	午前	<ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	26(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	26(土)	午後	(地区米山研修セミナー)	前橋問屋センター会館
			(青少年交換派遣学生選考会)	
10月	04(日)	終日	(R L I セミナー Part II)	前橋問屋センター会館
	04(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	17(土)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	17(土)	午後	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	17(土)	15:30~	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	18(日)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	25(日)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
11月	07(土)	9:00~	(第2回地区補助金委員会)	前橋商工会議所会館
	08(日)	終日	(R L I セミナー Part III)	前橋問屋センター会館
	22(日)		新会員セミナー	
	28(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ホテルメトロポリタン高崎
	28(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ホテルメトロポリタン高崎
12月	05(土)	午後	第3回ガバナー諮問委員会	
	05(土)	夕方	湯澤ガバナーエレクト壮行会	
	12(土)		(R Y L A 研修セミナー)	(桐生)

2026-2027年度 地区主要行事予定表

To all Rotary members in RID2840

日付	時間帯	項目	場 所	
2027年				
1月	10(日)~14(木)	国際協議会 (湯澤ガバナーエレクト参加)	オーランド(フロリダ州)	
	23(土)	終日 (米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館	
	23(土)	13:00~ (第1回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館	
		(奉仕プロジェクトセミナー)		
2月	13(土)	午前 第4回ガバナー諮問委員会・GE 報告会	前橋問屋センター会館	
	13(土)	午後 地区チームラーニングセミナー (湯澤年度)	前橋問屋センター会館	
	20(土)	13:00~ (第2回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館	
	23(火)	ロータリー創立記念日		
		(ローターアクト年次大会)		
3月	13(土)~14(日)	会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー (湯澤年度)	前橋商工会議所会館	
	20(土)~21(日)	第39回全国ロータアクト大会	伊香保 天坊	
	25(木)~28(土)	(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)		
		(米山記念奨学生終了式・歓送会)		
4月	03(土)	午前 第5回ガバナー諮問委員会		
	03(土)	午後 第4回ガバナー補佐・委員長合同会議		
	03(土)	15:30~ 第6回地区ラーニング・管理運営委員会		
	17(土)	9:00~ (第3回地区補助金予備審査会)	前橋商工会議所会館	
	23(金)~24(日)	(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)		
	24(土)	午後 地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎	
	24(土)	夜 R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎	
	25(日)	午後 地区大会 式典	群馬音楽センター	
	25(日)	夜 地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎	
			(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	
			(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	
			(継続米山記念奨学生資格審査面談)	
		(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)		
		地区大会記念ゴルフ大会		
5月	15(土)	13:00~ 地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館	
	16(日)	終日 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (湯澤年度)	前橋商工会議所会館	
	22(土)~26(水)	国際大会	ドバイ	
6月	05(土)	午後 新会員セミナー		
	07(月)	14~ クラブ管理運営セミナー (湯澤年度)		
	26(土)	午後 第6回ガバナー諮問委員会		
	26(土)	午後 現新地区役員合同連絡会議		
			(米山記念奨学生指定校選定会議)	
			(青少年交換受入学生歓迎会・夏季交換学生歓迎会)	
		(ローターアクト年次大会)		

第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉 RC）

私は第1地域 行動計画推進リーダー（APC）として、各地区、クラブまでロータリーの「行動計画（Action Plan）」を浸透させるべく携わってまいりました。本稿では、行動計画を各クラブ単位まで確実に浸透させるサポートをするための「クラブサポートミーティング」について触れてみたいと思います。

ここ数年で社会環境や会員の価値観は大きく変化しました。コロナ禍を経て、例会の形態、参加動機、奉仕のあり方が多様化しています。国際ロータリーが掲げる「より大きなインパクトをもたらす」は、単なる会員数の増加だけでは達成できません。

継続性・適応力・包摂性を兼ね備えたクラブ運営が求められており、クラブサポートミーティングは各クラブの運営や課題を支援したり、具体的に相談したりする定期開催の会合です。



クラブサポートミーティングには、大きく分けて3つの目的があります。

1. 現状把握と課題共有

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数などの定量データと、参加意欲や満足度といった定性情報を可視化します。

2. 戦略的支援の提供

単発の助言に留まらず、3年目標（3-Year Rolling Goals）など中長期の視点でクラブの成長計画を共に描き、年次レビューで柔軟に修正します。

3. 成功事例の横展開とリソース連携

有効な施策を他クラブへ展開し、人的・物的リソースを最適に配分することで、地域全体のインパクトを高めます。これらを通じて、地区・地域組織は「数字だけを追う管理者」ではなく、クラブの伴走者として機能することが期待されます。

次に、ミーティングで扱うべき具体テーマと進め方についてまとめてみましょう。

- ベースラインデータの確認

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数、参加者属性を共有し、クラブごとの現状を共通認識にします。

- 3年ローリング目標の策定支援

会長、会長エレクト、会長ノミネーを交え、定量的な3年目標と年次KPIを設定します。

- パイロット施策の設計と評価

小規模で試行し、データと参加者フィードバックで改善するサイクルを回します。

- 若手・多様層の参加促進

衛星クラブやローターアクトとの連携、柔軟な例会形態の導入など、包摂性を高める具体策を検討します。

- 広報と可視化

成功事例を地域内外に発信し、参加機会を増やすための広報支援を行います。

運営のポイントとしては、事前に簡潔なデータシートを配布し、ミーティングは「診断→提案→合意→実行計画」の流れで進めることです。年次レビューの結果は次年度計画に必ず反映させることが重要です。

既存クラブの文化や価値観を短期間で変えることは容易ではありません。そこで、衛星クラブやローターアクトクラブの創設は、包摂性を実現する有力な手段です。若年層や多様な背景を持つメンバーを受け入れ、彼らの力で地域課題に取り組んでもらうことで、ロータリー全体のブランドと地域インパクトを高められます。既存クラブは支援と連携を通じて新たな価値を共創できます。

今年度から定期開催されているガバナー主催のクラブサポートミーティングは、単なる報告会ではなく戦略的支援の場として活用してください。ガバナーや地域リーダーには次の役割を期待します。

- 戦略提案者：クラブごとの3年目標設計を支援する。
- 調整者：地域内のリソースや成功事例を結びつける。
- 伴走者：実行段階での課題解決を共に行う。

数字は重要ですが、数字を生むための「仕組みづくり」と「人の巻き込み」がより重要です。ガバナーや地域リーダーの戦略的な関与が、クラブの自律的な成長を促します。

クラブサポートミーティングは、地域とクラブが互いに学び合い、実行力を高めるための貴重な機会です。まずはベースラインの整理と3年目標(3-Year Rolling Goals)の共有をお願いします。必要であれば私が説明会に伺い、実務的な支援を行います。皆さまのご協力と積極的な参加を心よりお願い申し上げます。

第2地域 ローター公共イメージコーディネーター補佐 長戸 はるみ（横浜東 RC）

ポリオ根絶活動に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

ロータリーの友 2月号に「参加して良かったポリオ根絶活動」との特集がロータリー公共イメージコーディネーターと共同特別企画として掲載されました。全国から届いたポリオ根絶関連の投稿の中、当地区の亀ヶ谷純子さん（横浜港北RC）の手記が取り上げられています。亀ヶ谷さんはロータリーの友 地区代表委員としてもご活躍され、2017年以来インドにおける4回のワクチン投与活動に続き、現在はパキスタンでの活動に毎年参加されています。「参加して良かったポリオ根絶活動」と冒頭に掲げ、「チームポリオジャパン（任意団体）」に参加し、忘れられない出会いに感謝します。」と述べられています。



亀ヶ谷さんのご体験から特にパキスタンのポリオワーカーであるフーマさんのことをご紹介致します。先の記事にフーマさんと亀ヶ谷さんご一緒にの写りが掲載されています。彼女は仕事に列車事故に遭い、不幸にも両足を失いました。写真では義足を装着して車椅子に座っていますが、それでもなおポリオワーカーやポリオ根絶活動に復帰したいとの固い意志をお持ちです。フーマさんが義足を用い、日常生活を一日でも早く取り戻せるよう私も願って止みません。

チームポリオジャパン事務局の永田雄治さん（West Jordan RC）に依れば、彼女を日本に招いての診察と義足の提供、リハビリを経て、再びヘルスワーカーとして復帰するための計画が目下進行中とのこと。お母様とご一緒にの来日になるそうですので、是非皆様からのご支援をお願い申し上げます。入院と診療はチームメンバーの前田直俊さん（坂出東 RC/整形外科医）が奉仕、病院費用や義足はチーム内でカンパを集め、ポリオワーカー復帰に向けたフーマさんの夢を共有し、力強く後押しする輪が始まりました。

他に当地区の中川俊彦さん（横浜西 RC）と、今回初めて谷川公一さん（横浜西 RC）がパキスタンでのポリオ投与活動に参加されました。

谷川 GN は「ポリオ投与活動とは別に展開されている『水』の確保に関する支援と組み合わせることで、現地の理解と信用を得て行く手法は手堅い効果を期待できる。また現地、約 23 万人のポリオワーカーに要する人件費からも、ポリオ根絶がいかに大きな国際事業であるのかを改めて実感させられた。」と仰います。

ポリオ根絶の趣旨を理解し、ポリオ月間に限らず支え続ける意義をロータリー会員は忘れないでください。引き続きパキスタンとアフガニスタンでのポリオ根絶活動に更なるご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。



ロータリーにおける公共イメージ向上とブランドリソースセンターの活用

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 笹山 義弘（加治木 RC）

ロータリーの活動は、地域社会や世界に対して多くの価値ある奉仕を生み出しています。しかし、その活動が十分に知られていない場合、社会からの理解や共感、そして新しい仲間を得る機会を失ってしまう可能性があります。だからこそ、いま「公共イメージの向上」はロータリーにとって極めて重要なテーマとなっています。



公共イメージとは、単に広報を行うことではありません。ロータリーがどのような理念を持ち、どのような奉仕を行い、社会にどのような価値を提供しているのかを、分かりやすく、統一された形で社会に伝えていく取り組みです。これにより、地域社会の信頼と理解を高めるだけでなく、将来の会員となり得る人々にロータリーの魅力を伝えることにもつながります。

そのために重要となるのが、ロータリーのブランドを正しく理解し、統一感をもって発信することです。ロータリーは世界的な組織であり、国や地域が違って共通の理念と価値観を共有しています。そのイメージを社会に対して一貫した形で発信することが、ロータリー全体の信頼性を高めることにつながります。

この取り組みを支える有効なツールが、My ROTARY 内にある「ブランドリソースセンター」です。ブランドリソースセンターには、ロータリーのロゴの正しい使用方法、ポスターやチラシ、SNS用の画像素材、広報ツールなどが豊富に用意されています。これらを活用することで、各クラブが専門的なデザイン技術を持たなくても、ロータリーらしい統一された広報物を作成することが可能になります。例えば、例会案内、奉仕活動の告知、地域イベントへの参加案内などにブランドリソースセンターの素材を活用することで、視覚的にも「ロータリーらしさ」が伝わり、社会に対して信頼感のある発信ができます。また、SNSやホームページでの情報発信においても、ブランドの統一はロータリーの認知度向上に大きく寄与します。

ロータリー公共イメージコーディネーターおよび補佐としては、各クラブの皆様はこのブランドリソースセンターの活用を積極的に推進し、ロータリーのブランドを大切にしたいと考えています。具体的には、ブランド活用の理解を深めるための研修や資料提供、実際の広報物作成の支援などを通じて、クラブの広報活動をサポートしていくことが重要です。



ロータリーの価値ある活動を、社会に正しく、そして魅力的に伝えることは、未来のロータリーをつくる大切な一歩です。一人ひとりの会員が「ロータリーの顔」であるという意識を持ち、ブランドを意識した発信を行うことで、ロータリーの公共イメージはさらに高まり、地域社会とのつながりも一層強いものとなるでしょう。

今こそ、My ROTARY のブランドリソースセンターを活用し、クラブ全体でロータリーブランディングを推進していくことを提案いたします。

出席報告（2月末日現在）・My Rotary 登録率

クラブ名	年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）
43	2001(176)	2037(181)	7(1)	1(0)	2043(182)	42(6)
	自クラブ出席率		当月出席率（メイク含む）		MyRotary 登録率 （3月24日現在）	
	64.3%		73.5%		77.56%	

※純増減は年度初の会員数との対比となります。

クラブ名	回数	自クラブ出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイク	出席率	MyRotary登録率 （3月24日現在）
			年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）					
第1分区	前橋	3	66.99%	117 (11)	118 (11)	2 (0)	0 (0)	120 (11)	3 (0)	2	67.58%	88.33%	
	前橋西	4	62.54%	6 (5)	55 (6)	0 (0)	0 (0)	55 (6)	-1 (1)	8	66.75%	83.64%	
	前橋東	3	59.85%	50 (4)	50 (4)	1 (0)	0 (0)	51 (4)	1 (0)	17	71.81%	80.39%	
	前橋北	3	77.60%	79 (1)	77 (1)	0 (0)	0 (0)	77 (1)	-2 (0)	0	77.60%	85.71%	
	前橋南	3	69.23%	56 (5)	52 (3)	0 (0)	0 (0)	52 (3)	-4 (-2)	4	71.80%	80.77%	
	前橋中央	3	62.50%	23 (5)	24 (5)	0 (0)	0 (0)	24 (5)	1 (0)	8	73.61%	79.17%	
	合計		66.45%	381 (31)	376 (30)	3 (0)	0 (0)	379 (30)	-2 (-1)		71.53%	83.00%	
第2分区A	桐生	2	65.00%	71 (12)	70 (12)	0 (0)	0 (0)	70 (12)	-1 (0)	26	72.75%	88.41%	
	桐生南	3	65.12%	37 (4)	36 (3)	0 (0)	0 (0)	36 (3)	-1 (-1)	12	77.09%	66.67%	
	桐生西	4	65.50%	49 (11)	50 (10)	1 (1)	0 (0)	51 (11)	2 (0)	23	77.49%	92.16%	
	桐生赤城	4	54.25%	39 (7)	42 (7)	0 (0)	0 (0)	42 (7)	3 (0)	39	79.63%	71.43%	
	合計		62.47%	196 (34)	198 (32)	1 (1)	0 (0)	199 (33)	3 (-1)		76.74%	79.66%	
第2分区B	伊勢崎	3	82.57%	79 (5)	83 (5)	0 (0)	0 (0)	83 (5)	4 (0)	10	86.72%	96.39%	
	群馬境	4	79.55%	23 (2)	24 (2)	0 (0)	0 (0)	24 (2)	1 (0)	2	80.05%	50.00%	
	伊勢崎中央	2	69.15%	88 (9)	96 (9)	0 (0)	0 (0)	96 (9)	8 (0)	7	72.87%	77.08%	
	伊勢崎南	3	68.00%	25 (2)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	0 (0)	0	68.00%	96.00%	
	伊勢崎東	2	65.34%	34 (2)	41 (3)	0 (0)	0 (0)	41 (3)	7 (1)	0	65.34%	92.68%	
	合計		72.92%	249 (20)	269 (21)	0 (0)	0 (0)	269 (21)	20 (1)		74.60%	82.43%	
第3分区	高崎	2	57.78%	138 (10)	145 (10)	0 (0)	1 (0)	144 (10)	6 (0)	11	61.58%	57.34%	
	高崎南	3	62.12%	66 (10)	65 (10)	1 (0)	0 (0)	66 (10)	0 (0)	8	74.24%	50.00%	
	高崎北	2	53.02%	77 (0)	77 (0)	0 (0)	0 (0)	77 (0)	0 (0)	21	67.11%	62.34%	
	高崎東	3	53.89%	26 (3)	28 (4)	0 (0)	0 (0)	28 (4)	2 (1)	9	64.20%	78.57%	
	高崎シンフォニー	2	58.95%	45 (9)	47 (10)	0 (0)	0 (0)	47 (10)	2 (1)	10	69.80%	100.00%	
	高崎セントラル	2	64.71%	33 (0)	34 (1)	0 (0)	0 (0)	34 (1)	1 (1)	10	79.41%	58.82%	
	合計		58.41%	385 (32)	396 (35)	1 (0)	1 (0)	396 (35)	11 (3)		69.39%	67.85%	

クラブ名	回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイ イク	出席率	MyRotary 登録率 (3月24日現在)
			年度初 (女性)	当月初 (女性)	新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)	純増減 (女性)					
第4分区 A	太田	4	37.15%	70 (3)	72 (3)	0 (0)	0 (0)	72 (3)	2 (0)	4	38.53%	95.83%	
	太田西	3	85.00%	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	7	100.00%	63.64%	
	太田南	3	49.33%	47 (4)	49 (5)	1 (0)	0 (0)	50 (5)	3 (1)	22	64.00%	98.00%	
	新田	3	58.81%	21 (3)	20 (3)	0 (0)	0 (0)	20 (3)	-1 (0)	3	73.81%	42.11%	
	太田中央	3	59.33%	46 (5)	50 (7)	0 (0)	0 (0)	50 (7)	4 (2)	1	59.67%	78.00%	
	合計		57.92%	195 (16)	202 (19)	1 (0)	0 (0)	203 (19)	8 (3)		67.20%	75.51%	
第4分区 B	館林	4	58.00%	55 (4)	52 (4)	0 (0)	0 (0)	52 (4)	-3 (0)	23	69.50%	88.46%	
	大泉	2	52.69%	25 (3)	25 (3)	0 (0)	0 (0)	25 (3)	0 (0)	12	78.11%	24.00%	
	館林東	2	90.00%	6 (1)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (1)	3 (0)	0	90.00%	44.44%	
	館林ミレニアム	2	63.86%	27 (1)	27 (1)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	0 (0)	4	73.40%	100.00%	
	合計		66.14%	113 (9)	113 (9)	0 (0)	0 (0)	113 (9)	0 (0)		77.75%	64.23%	
第5分区	渋川	3	74.07%	58 (5)	58 (6)	0 (0)	0 (0)	58 (6)	0 (1)	26	89.51%	71.19%	
	沼田	3	61.64%	73 (3)	73 (3)	0 (0)	0 (0)	73 (3)	0 (0)	22	69.94%	98.63%	
	中之条	4	82.26%	16 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)	0 (0)	0	82.26%	56.25%	
	沼田中央	3	60.86%	49 (4)	49 (4)	0 (0)	0 (0)	49 (4)	0 (0)	36	86.95%	100.00%	
	渋川みどり	4	42.17%	48 (6)	46 (6)	0 (0)	0 (0)	46 (6)	-2 (0)	23	54.64%	93.48%	
	合計		64.20%	244 (18)	242 (19)	0 (0)	0 (0)	242 (19)	-2 (1)		76.66%	83.91%	
第6分区	富岡	3	80.85%	41 (3)	43 (3)	0 (0)	0 (0)	43 (3)	2 (0)	5	86.70%	62.79%	
	藤岡	3	67.75%	43 (3)	43 (3)	0 (0)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	9	75.00%	79.07%	
	安中	3	44.04%	56 (3)	56 (2)	0 (0)	0 (0)	56 (2)	0 (1)	27	60.11%	55.36%	
	藤岡北	2	74.99%	7 (1)	7 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	0 (0)	2	74.99%	57.14%	
	富岡中央	3	68.83%	37 (3)	37 (4)	0 (0)	0 (0)	37 (4)	0 (1)	11	79.23%	75.68%	
	碓氷安中	2	76.19%	7 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	0	76.19%	71.43%	
	藤岡南	2	61.54%	18 (0)	18 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)	0 (0)	4	76.93%	66.67%	
	富岡かぶら	3	51.61%	29 (3)	31 (3)	0 (0)	0 (0)	31 (3)	2 (0)	10	62.36%	54.84%	
合計		65.73%	238 (16)	241 (16)	1 (0)	0 (0)	242 (16)	4 (0)		73.94%	65.37%		

新会員紹介



氏名 **寺田 紀子**
 クラブ 桐生西
 入会日 2026年2月6日
 職業分類 建設業
 勤務先 寺田建設工業株式会社
 役職 代表取締役
 推薦者 野村 滋



氏名 **齋藤 彰男**
 クラブ 高崎南
 入会日 2026年2月17日
 職業分類 社会保険労務士
 勤務先 社会保険労務士さいとう事務所
 役職 代表
 推薦者 川鍋 太志、原澤 一壽



氏名 **山田 徹**
 クラブ 大泉
 入会日 2026年3月6日
 職業分類
 勤務先
 役職
 推薦者 坂元 寿彦



氏名 **市川 明子**
 クラブ 渋川
 入会日 2026年3月5日
 職業分類 病院
 勤務先 医療法人 北関東循環器病院
 役職 院長
 推薦者 永井 勇

訃報



中之条ロータリークラブ

割田 良次 (享年96歳)

入会日 1978年 11月7日入会
 逝去日 2026年 3月1日
 割田商店店主

2009年～2010年度 クラブ会長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2回
 第1回米山功労者

割田 良次 様

割田 良次さんは1978年に当クラブに入会し、長きにわたり熱心に奉仕活動、クラブ運営に取り組まれるなどご尽力されました。誰からも慕われる方でしたのでクラブ運営のことや個人的な相談にも快く相談を受けていただきました。生前のご貢献に感謝し、心よりご冥福を申し上げます。どうぞ、安らかにお眠りください。

会長 田村 洋晃

新会員入会実績報告（2月末日現在）

クラブ名	年度初	新会員 入会目標	新会員 入会実績	達成率	目標残
43	2001	158	107	68%	51

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第1分区	前橋	117	8	8	0	100.0%
	前橋西	56	2	1	1	50.0%
	前橋東	50	5	2	3	40.0%
	前橋北	79	4	1	3	25.0%
	前橋南	56	7	0	7	0.0%
	前橋中央	23	2	2	0	100.0%
	合計	381	28	14	14	50.0%
第2分区A	桐生	71	5	5	0	100.0%
	桐生南	37	2	2	0	100.0%
	桐生西	49	6	4	2	66.7%
	桐生赤城	39	2	3	-1	150.0%
	合計	196	15	14	1	93.3%
第2分区B	伊勢崎	79	7	4	3	57.1%
	群馬境	23	3	1	2	33.3%
	伊勢崎中央	88	5	11	-6	220.0%
	伊勢崎南	25	3	1	2	33.3%
	伊勢崎東	34	6	7	-1	116.7%
	合計	249	24	24	0	100.0%
第3分区	高崎	138	10	11	-1	110.0%
	高崎南	66	3	3	0	100.0%
	高崎北	77	3	2	1	66.7%
	高崎東	26	5	2	3	40.0%
	高崎シンフォニー	45	3	2	1	66.7%
	高崎セントラル	33	2	2	0	100.0%
	合計	385	26	22	4	84.6%

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第4分区A	太田	70	5	3	2	60.0%
	太田西	11	2	0	2	0.0%
	太田南	47	2	4	-2	200.0%
	新田	21	3	1	2	33.3%
	太田中央	46	3	4	-1	133.3%
	合計	195	15	12	3	80.0%
	第4分区B	館林	55	5	0	5
大泉		25	4	0	4	0.0%
館林東		6	8	0	8	0.0%
館林ミレニアム		27	3	1	2	33.3%
合計		113	20	1	19	5.0%
第5分区	渋川	58	3	4	-1	133.3%
	沼田	73	2	3	-1	150.0%
	中之条	16	1	1	0	100.0%
	沼田中央	49	6	1	5	16.7%
	渋川みどり	48	2	1	1	50.0%
	合計	244	14	10	4	71.4%
第6分区	富岡	41	3	2	1	66.7%
	藤岡	43	2	1	1	50.0%
	安中	56	2	3	-1	150.0%
	藤岡北	7	1	0	1	0.0%
	富岡中央	37	2	1	1	50.0%
	碓氷安中	7	2	1	1	50.0%
	藤岡南	18	2	0	2	0.0%
	富岡かぶら	29	2	2	0	100.0%
	合計	238	16	10	6	100.0%

*上記の数値は新会員入会者のみの目標および実績を表記しております。退会者数はカウントしておりません。
よって各クラブの現在の会員数を示すものではありません。

ガバナーより一言

私の地元の高崎でもソメイヨシノが満開です。

桜はきれいだと思いますが、私はこの季節、見慣れた観音山が大きくなっていく様子が好きです。春の季語「山笑う」の通り、木々の芽吹きで山全体が膨らんでいくようで、生き生きとして、生命力に溢れた情景です。山を題材とした他の季語、「山滴る（夏）」、「山粧う（秋）」、「山眠る（冬）」がありますが、「山笑う」が、里山にぴったりだと思います。（秋の「山粧う」もいいですが、「山燃える」も好きです。）

さて、3月28日の第1分区で、全てのIM（Intercity Meeting）が終了しました。3月に続いてIMについてお話しさせていただきます。

複数のIMで、外部からの講師として児童養護施設またはその卒業生を支援されている団体の方を招聘し現状をお聞かせいただきました。

そこで、“社会的養護”という概念に触れました。

“社会的養護”について、子ども家庭庁のホームページに「社会的養育の推進に向けて」という資料があったのでそこから基本を掲載します。

<社会的養護の基本理念>

① こどもの最善の利益のために

- ・児童福祉法第1条「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。」
- ・児童の権利に関する条約第3条「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」

② 社会全体でこどもを育む

- ・社会的養護は、保護者の適切な養育を受けられないこどもを、公的責任で社会的に保護養育するとともに、養育に困難を抱える家庭への支援を行うもの。

<社会的養護の原理>

① 家庭養育と個別化：

- ・すべてのこどもは、適切な養育環境で、安心して自分をゆだねられる養育者によって養育されるべき。「あたりまえの生活」を保障していくことが重要。

② 発達の保障と自立支援：

- ・未来の人生を作り出す基礎となるよう、こども期の健全な心身の発達の保障を目指す。愛着関係や基本的な信頼関係の形成が重要。自立した社会生活に必要な基礎的な力を形成していく。

③ 回復をめざした支援：

- ・虐待や分離体験などによる悪影響からの癒しや回復をめざした専門的ケアや心理的ケアが必要。安心感を持てる場所で、大切にされる体験を積み重ね、信頼関係や自己肯定感（自尊心）を取り戻す。

- ④ 家族との連携・協働：
 - ・親と共に、親を支えながら、あるいは親に代わって、こどもの発達や養育を保障していく取り組み。
- ⑤ 継続的支援と連携アプローチ：
 - ・アフターケアまでの継続した支援と、できる限り特定の養育者による一貫性のある養育。様々な社会的養護の担い手の連携により、トータルなプロセスを確保する。
- ⑥ ライフサイクルを見通した支援：
 - ・入所や委託を終えた後も長くかかわりを持ち続ける。虐待や貧困の世代間連鎖を断ち切っていけるような支援。

<社会的養護の基盤づくり>

- ・家庭養育優先原則に基づき、家庭での養育が困難又は適当でない場合は、養育者の家庭に子どもを迎え入れて養育を行う里親やファミリーホーム（家庭養護）を優先するとともに、児童養護施設、乳児院等の施設についても、できる限り小規模かつ地域分散化された家庭的な養育環境の形態（家庭的養護）に変えていく。
- ・大規模な施設での養育を中心とした形態から、一人一人の子どもをきめ細かく育み、親子を総合的に支援していけるよう、ハード・ソフトともに変革していく。
- ・施設は、社会的養護の地域の拠点として、家庭に戻った子どもへの継続的なフォロー、里親支援、自立支援やアフターケア、地域の子育て家庭への支援など、高機能化及び多機能化・機能転換を図る。
- ・ソーシャルワークとケアワークを適切に組み合わせ、家庭を総合的に支援する仕組みづくりが必要。

こうして官庁が作った文章を読むより、当事者と直接かかわっている方の言葉の重みは全く違ったものであり、正に現場の声であり、協力を求める、共働して欲しいとの呼びかけであったように感じました。

誠に重い、深い現実を知らされました。また、制度としての“社会的養護”を受けられる間よりその後、“社会的養護経験者の自立支援”の方が多岐に亘るサポートが必要なことも知りました。

では、私たちに何ができるのでしょうか。

全てを解決できるわけではありませんが、直接係わること、活動を支援することにより、課題解決に寄与することは可能でしょう。また、目先の課題を緩和する対症療法ではなく、根本的原因の解決に取り組む必要があるかもしれません。

我々のサポートというと、寄付や物品の寄贈を考えがちです。地区補助金と結び付けることも多いでしょう。講師の言葉の中で“頼れる大人”という表現がありました。希望を失い、将来に絶望しているかもしれない若者に寄り添う気持ちを先ずは持ちましょう。

以前ご紹介した司馬遼太郎の「21世紀を生きる君たちへ」をもう一度ご紹介します。

……助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情である。

他人の痛みを感じることにしてもいい。

やさしさと言いかえてもいい。

「やさしさ」「おもいやり」「いたわり」「他人の痛みを感じること」

みな似たような言葉である。

これらの言葉は、元々一つの根から出ている。

根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身に付けねばならない。

その訓練とは、簡単なことだ。例えば、友達が転ぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、その都度自分で創り上げていきさえすればよい。

この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちも沸き出てくる。

君たちさえ、そういう自己を作っていけば、二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるに違いない。

加えて、過去の国際ロータリー会長のテーマをご紹介します。

2003-04 年度：ジョナサン B. マジヤベ Jonathan Majiyagbe (ナイジェリア・カノ RC)

Lend a Hand 手を貸そう

1992-93 年度：クリフォード L. ダクターマン Clifford L. Dochterman (米国・バークレー RC)

Real Happiness is Helping Others まことの幸福は人助けから

誰かが転んだ時に、痛かっただろうと気遣う気持ちを持つだけでなく、反射的に、駆け寄り、手を差し伸べられるような人でありたいと思います。

私たちが手を差し伸べた若者が、次の若者を気遣う。そんな連鎖が生まれることを願っています。

2026-2027 国際ロータリー会長は、本年 2 月の国際協議会で次のように呼びかけられました。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです。

2840 地区のロータリアンの皆様、行動し、自ら変化していきましょう。

表紙説明

タイトル: 初代ぞうきんがけネコ

作家名: 森藤政明 (もりとうまさあき)

画材: ボールペン画 画用紙

森藤政明プロフィール

MORITO masaaki

1982 年生まれ



ネコの模写をしていくうちにネコが好きになり、オリジナルなネコの絵を描き始める。台に足をのせているネコの写真を見ているときに、足をぞうきんにのせるアイデアを思いつき、「ぞうきんがけネコ」が誕生した。「ぞうきんがけネコ」は絵画作品の他に様々な商品にグッズ化されている。ネコと背景が創り出す世界観は、観る人を癒し、自然と元気がわいてくる。

主な出展歴

2018 年 「ポコラート全国公募展 vol.8」 アーツ 3331 (東京)

2019 年 「中之条ビエンナーレ 2019 町民アートプロジェクト」(中之条)

「アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン ANBD2019 京都展」 京都芸術大学

2020 年 「Masa のネコ展」 ギャラリー茶房千楽 (高崎)

「群馬県美術展覧会」 群馬県立近代美術館 (高崎)

「Viewing 展 2020」 もうひとつの美術館 (栃木那珂川)

2023 年 「高崎市民美術展」 顕彰 高崎造形文化協会賞

「碧い時展」 もうひとつの美術館 (栃木那珂川)

2024 年 「高崎市民美術展」 高崎市立美術館賞

他多数

高崎市本町にある NPO 法人工房あかねが運営する障害福祉事業所「アトリエ ART・ON」では、利用者が自由に自己表現を楽しみながら創作活動に取り組んでいます。絵画や工作、刺繍など、スタッフと共に多彩な制作を行い、その成果は展示会への出展やアートグッズとしての展開など、さまざまな形で発信されています。

ガバナー事務所よりお願い

■ガバナー月信に関して

- ・ 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し竹中隆ガバナー事務所 (takenaka@rid2840.jp) まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- ・ 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

■ガバナー事務所に関して

- ・ ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前 10 時から午後 5 時となっておりますのでよろしくをお願いいたします。尚、原則として正午から午後 1 時までは昼休みとなっております。
- ・ ガバナー事務所は下記の期間、ゴールデンウィーク休暇を頂きますのでよろしくをお願い致します。

2026年4月29日(水)～5月6日(水)

■月信への寄稿のお願い

- ・ 毎月 1 日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第 2840 地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？
原稿締め切りは毎月 15 日になります。原稿を 15 日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます



竹中 隆 ガバナー事務所

〒 371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F
TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841